資料No.1

釜石市と東京藝術大学との連携について

1　趣旨

東京藝術大学とのこれまでの交流をさらに発展させ、アートを通じた地域課題の解決や地域活性化を図るため、同大学との連携事業を実施する。その第一弾として、同大学出身のアーティスト・五十嵐靖晃氏を迎え、(株)かまいしDMCと連携しながら制作活動を行う「釜石版アーティスト・イン・レジデンス」を実施するもの。

2　釜石版アーティスト・イン・レジデンスの概要

【期間】

令和8年10月7日～令和9年2月7日

【実施内容】

・東京藝術大学出身のアーティスト・五十嵐靖晃（やすあき）氏が当市に滞在し、地域の人々との交流・協働を通じて制作活動を行うもの。

【五十嵐靖晃氏プロフィール】



1978年千葉県生まれ。2005年東京藝術大学大学院美術研究科修了。地域の人々との協働を通じ、土地の暮らしと自然を結ぶ表現活動を各地で展開。

2012年、平田第6仮設団地に約1か月滞在し、津波で流された漁網を活用し、住民や漁師とともに網を編み上げ、仮設住宅の空に掲げる「そらあみ」プロジェクトを実施。

3　海と希望の学園祭との連携

・11月7日・8日に「アート」をテーマにして行う「海と希望の学園祭」に、同大学長の日比野克彦氏がトークイベントに参加

・五十嵐氏が2012年の釜石滞在で制作した作品等、これまでの活動紹介や当市での制作活動の構想発表も併せて実施予定

4　参考：五十嵐氏のプロジェクトの一例

地域住民との対話を通じて、各地域の文化や歴史的背景を丁寧にくみ取り、住民との共創によるアートプロジェクトを数多く展開している。また、継続的な活動を通じて、新たな地域コミュニティの創出にもつながっている。

そらあみ



くすかき

